

2025年度機器利用講習会概要

No.	講座名	講座の概要	カリキュラム	募集人員	開講日	募集状況	開講時刻	閉講時刻	会場
01	CNC 3次元座標測定機による評価技術	一般機械加工部品の測定において、3次元測定機の位置付けや、基本原理/操作活用方法など実習を通して学びます。単に、測定対象物の寸法測定が出来るだけでなく、幾何公差の評価などが容易にできる力をつけます。	1 座学 1時間 ・3次元測定機の基本原理と測定事例など ・幾何公差の意味（直線らしさ、平面らしさ等） 2 実習・操作 2時間20分 ・座標系の設定 ・幾何要素の測定 ・寸法値算出（距離、角度等） 3 全体まとめ（質疑応答） 10分	5	7/18(金)	開催終了	13:00	16:30	研修室/ 実習室
02	走査型電子顕微鏡による材料観察技術	材料の表面観察面で有力な装置である走査型電子顕微鏡の装置構成及び原理を理解し、入門実習として材料表面や破面の観察及び元素分析などを体験する。	1. 座学：装置構成及び原理 1時間 2. 実習： 1) 観察試験片の調整、装置の操作手順説明 25分 2) 材料表面の観察 1時間 3) 元素分析 1時間 3. 全体まとめ（質疑応答） 5分	5	9/25(木)	開催終了	13:00	16:30	研修室/ 実習室
03	表面形状測定技術	各種材料の表面形状を高精度、高分解能で3次元測定する技術を学びます。例えば、物質表面の微細な凹凸形状のプロファイルや計測などに応用することができます。 用途例) SiCウェハ表面の微細欠陥観察(傷深さ)面積、体積、重心等のデータ解析	1. 座学： 1時間20分 1) 表面形状測定の各種方法（共焦点法、光干渉法、微分干渉法） 2) 表面形状測定の有用性 3) 表面形状測定データの処理方法 2. 実習： 2時間 1) 表面形状測定器による計測およびデータ処理 3. 全体質疑応答 10分	5	10/23(木)	開催終了	13:00	16:30	研修室/ 実習室
04	引張・圧縮試験の基礎（試験準備～構築までの基礎）	材料の機械性質を把握するために実施される引張・圧縮試験の位置づけと、実施するために必要な基礎知識の習得を目的とする。	1.座学: 1時間 1)引張・圧縮試験の目的と位置づけ 2)引張・圧縮試験の基礎 から実施まで) 3)引張・圧縮試験とほかの試験等との関係等 2.実習: 1) 軟鋼材の引張試験 30分 2) SUS材の引張試験 30分 3.全体まとめ（質疑応答） 30分	5	1/22(木)	募集中	13:30	16:00	研修室/ 実習室

* 受講料：各講座とも 3,000円/1名(当日に現金でお持ち下さい。*お釣りが無いよう御用意頂ければ有難いです。) 但しAMPI賛助会員は無料